

第2期網走市まち・ひと・しごと創生

総合戦略

—豊かな自然にひと・もの・まちが輝く健康都市 網走—

【概要版】

令和2年3月初版

『網走市人口ビジョン』を基礎として、国の『第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略』及び北海道の『第2期北海道創生総合戦略』の方針を勘案しながら、網走市の人口動態を見据え、地域特性を活かした積極戦略と調整戦略を同時並行的に進め、市民の住み良い環境を持続的に確保するための戦略『第2期網走市まち・ひと・しごと創生総合戦略』（以下『本戦略』という。）を策定しました。

人口の将来展望

2015年（平成27年）7月に策定した『網走市人口ビジョン』では、2040年（令和22年）に、人口を32,900人確保することを目標としています。

また、2010年～2040年までの当市の人口の現状分析や今後の目指すべき方向性と人口の将来展望などを示しています。

全国的には、少子高齢化の影響により、生産年齢人口は減少を続けており、「高齢化」の面においては、さらなる進行を迎え、これまでの人口転換理論に当てはまらない、「少産多死型」の段階に入ったとされています。

当市においても、人口減少は人口ビジョンの推計を上回って進行しており、人口転換の新たな段階に入ったと考えられます。

このため、人口減少の進行と各分野への影響を緩和させるべく、人口動態を見据えた本戦略の推進により、目標人口の確保を目指します。

戦略の対象期間

本戦略は、令和2年度（2020）～令和6年度（2024）を対象期間とします。

SDGsの推進

SDGs（持続可能な開発目標）とは、2015年（平成27年）9月の国連サミットで採択された、2030年（令和12年）を期限とする先進国を含む国際社会全体の開発目標です。

本戦略における各施策の方向性は、規模に違いはあるものの、SDGsの理念と整合するところがあることから、本戦略の推進は、SDGsの達成に資するものと考えます。



戦略の基本的な視点

本戦略では、①若い世代が安心して働き、希望に応じて結婚・出産・子育てができる社会経済環境の実現、②地方で学び、暮らし、働き、豊かな生活を実現したい人々の希望の実現、③地域に即した課題の解決と地域間・組織間連携を基本的な視点として、5つの目標を掲げました。

基本目標 1

地域づくりを担う組織との協働による、誰もが安心して働くための産業振興と雇用の場の創出

| 評価指標 | 基準値 (H28) | 目標値 (R6) |
|----------------------------|-----------|----------|
| 市内事業所の従業員数 (経済センサス活動調査) | 15,757人 | 16,000人 |

1 産業振興策の構築

地域づくりを担う組織などとの連携と、スマート農林漁業など新技術の活用により、網走の強みである一次産業の振興策に積極的・継続的に取り組むとともに、多様で付加価値を高める産業の創出を促進することにより、社会経済環境の変化にも耐え得る社会基盤の構築を図ります。

【地域産業のさらなる競争力強化の取り組み】

- ブランド化と高付加価値化の推進
- 安定した農林水産基盤の確立と新技術の導入
- 中心市街地と網走川周辺のにぎわい創出

【国内外への販路拡大】

- 地場産品の販路拡大に向けた支援
- 網走港の活用

【地域特性を活用した新エネルギーの利用や企業誘致の促進】

- 再生可能エネルギー・新エネルギーの利用促進
- 省エネルギーの普及
- 企業誘致の促進

2 多様な就労環境の創出

誰もが安心して働ける雇用の場の創出を促進し、さらには企業支援などの多様な就労環境の創出により、幅広い年齢層の市民の経済活動参加を促進します。

【就労機会の拡充】

- 若者の就労促進
- 女性・高齢者の就労促進
- 障がい者の就労促進
- ものづくり・起業化の推進
- U・I・Jターンの推進

基本目標 2

観光や健康・スポーツなど、網走の地域特性を活かした交流・関係人口の拡大

| 評価指標 | 基準値 (H30) | 目標値 (R6) |
|--------|-----------|----------|
| 観光入込客数 | 147万人/年 | 199万人/年 |

1 交流・関係人口の拡大

網走の自然・文化・歴史・食などの豊かな地域資源や地域特性を活かした、体験型観光など魅力あるコンテンツの開発や提供、情報発信力を強化し、「おいしいまち 網走」の確立と進化を図り、人々の印象に残り、評価され、選ばれるまちを目指します。

また、スポーツをはじめ芸術文化など、さまざまな分野での合宿や大会等の誘致に係る取り組みを強化するほか、東京農業大学が有する「学び」などの強みを活かした取り組みを推進し、国内外からの交流・関係人口の拡大を図ります。

【「おいしいまち 網走」の確立と進化】

- 観光資源の磨き上げと開発による魅力向上
- 潜在コンテンツの創出と効率的な情報発信による環境整備
- 観光地域づくりを推進する組織体制整備
- 「おいしいまち 網走」のPR

【スポーツ・芸術文化を切り口とした交流・関係人口の拡大】

- スポーツ・芸術文化を切り口とした交流・関係人口の拡大
- スポーツツーリズム・アドベンチャーツーリズムの推進

【多様な機関との連携による関係人口の拡大】

- 関係機関との連携による関係人口の創出・拡大

【マーケット視点に立った観光客の誘致拡大】

- 広域連携による国外観光プロモーションの展開
- 観光客受入基盤強化

基本目標 3

若い世代が健康で、希望に応じて
結婚・出産・子育てができる環境づくり

| 評価指標 | 基準値 (H30年) | 目標値 (R6) |
|---------|------------|----------|
| 合計特殊出生率 | 1.51 | 1.65 |

1 結婚・妊娠・出産・子育てについての切れ目ない支援

安心して結婚・妊娠・出産・子育てができるような環境の充実を図るとともに、出産・子育てに係る経済的・精神的負担の軽減を図ります。

【結婚・出産の意識改革】

- 出会いの場の創出

【周産期・小児医療の確保】

- 地域と連携した周産期・小児医療提供体制の充実
- 感染症予防対策への取り組み

【出産・子育ての負担の軽減】

- 妊娠期から子育て期の切れ目のない支援
- 不妊治療・不育症に対する支援

2 ワーク・ライフバランスの実現

子育て世代が家庭生活と仕事を両立しながら、健康な家庭を築くため、事業者や父親の意識改革を図るとともに、地域全体での意識改革を図り、ワーク・ライフバランスの実現に向けた取り組みを推進します。

【学習機会の提供と実践】

- 子育て世代への学習機会の提供
- 子どもと子育てについての意識改革の推進

3 若い世代が安心して働ける場の確保

若い世代が自立し、安定した生活を送ることができるよう雇用の場を創出します。

【雇用の場の創出と就労支援】

- ブランド化と高付加価値化の推進（再掲）
- 若者の就労促進（再掲）
- ものづくり・起業化の推進（再掲）

基本目標 4

東京農業大学、日本体育大学などと連携し、
地域を支える人材の育成・確保

| 評価指標 | 基準値 (H30) | 目標値 (R6) |
|-----------------------|--|----------|
| 全国学力調査の 全国平均正答率との差 | 小学生 △2.7ポイント 中学生 △0.9ポイント | 全国平均以上 |
| 全国体力調査の 全国平均値との差 | 小5男子+0.2ポイント 小5女子+1.3ポイント 中2男子△0.8ポイント 中2女子△3.0ポイント | 全国平均以上 |

1 東京農業大学や日本体育大学との連携

東京農業大学や日本体育大学と連携しながら、地域の教育力を強化し、豊かな人材を創出するとともに、障がい者スポーツへの理解を深め、障がい者や高齢者にとっての優しいまちづくりと、スポーツ振興による市民の健康増進を目指します。

【東京農業大学との連携】

- 地元に着定する人材の確保
- 多様な組織との連携による地域課題への取り組み

【日本体育大学との連携】

- 日本体育大学附属高等支援学校が行う特別支援教育への支援
- 日本体育大学附属高等支援学校との連携による市民スポーツ活動の充実

2 多様な人材の育成・確保

大都市圏などから多様な知識・経験を有する人材の還流を図ります。また、東京農業大学、日本体育大学等関係機関・団体と連携し、地域課題の解決と、これからの網走を担う人材の育成に取り組みます。

【大都市圏などからの人材確保】

- 多様な知識・経験を有する人材の還流

【人材の育成・確保】

- 多様な組織との連携による地域課題への取り組み（再掲）

3 子どもの学力・体力向上の推進

子どもたちの確かな学力の育成をはじめ、豊かな心とたくましく生きるための健康な体づくりを推進し、豊かな人間性や社会性を培う基礎を身につけ、みずから学びみずから考える力を育成する教育の充実を図ります。

【子どもの学習環境の充実】

- 子どもの学力向上や体力などの増進
- ICTを活用した授業の推進
- 学びの環境作りと機会の創出

4 社会教育の推進

豊かな人間性を育てる教育・文化のまちづくりを推進し、高等教育機関と連携した学習機会の提供と、市民みずからの学習活動への支援を推進するとともに、市民が生涯の各期にわたり、主体的・継続的にスポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会の実現を目指します。

【市民の学びの場の充実】

- 網走の地域資源や歴史・文化を学ぶ機会の充実
- 生涯スポーツの推進

基本目標 5

誰もが活躍し、安心して暮らすことができる
時代に合った共生型地域社会づくり

| 評価指標 | 基準値 (H30) | 目標値 (R6) |
|------|-----------|----------|
| 健康寿命 | 男 79.19歳 | 男 79.50歳 |
| | 女 84.11歳 | 女 84.39歳 |

1 誰もが安心して暮らせる基盤整備

各種計画に基づき、上下水道、道路、橋梁、河川、港湾、廃棄物処理、地域公共交通など、市民の安全・安心な居住空間・交通空間の確保に努めるとともに、住み慣れた地域で健康に暮らし続けられる取り組みを進めます。

【安全・安心なライフラインの構築】

- インフラの戦略的な予防保全
- 防災体制の強化
- 持続可能な公共交通ネットワークの形成

【健康寿命の延伸】

- 生活習慣病などの予防及びメンタルヘルス対策の推進
- 休日・夜間の救急医療の確保
- 開業医誘致に向けた取り組み
- 高齢者や障がい者が暮らしやすいまちづくり
- 介護予防に向けた取り組み

2 小さな拠点づくりを結ぶコンパクトシティの推進

人口減少・超高齢社会に対応したコンパクトなまちづくりの検討を進めるとともに、高齢者等の中心拠点移住を促進し、歩いて暮らせるまちづくりの推進に努めます。

【コンパクトシティの推進】

- コンパクトシティの推進

【小さな拠点の強化】

- 地域コミュニティ活動の推進

3 公共施設などのマネジメント強化と住環境づくりの推進

網走市公共施設等総合管理計画に基づき、公共施設等の最適な配置を図るほか、住環境の変化に適切に対応した、誰もが暮らしやすい住環境づくりを推進します。

【公共施設などのマネジメント強化】

- 公共施設などの計画的な管理

【住環境の提供】

- 空き家対策の推進
- 住環境の改善

4 地域間連携施策の推進

広域連携によって、より効率的かつ効果的な行政運営をめざし、広域的な取り組みを検討・推進します。

【定住自立圏等の地域間連携】

- 定住自立圏による地域間連携の推進
- その他の広域連携の推進

